



福山市立大成館中学校
大中だより

2022(令和4)年
4月8日
No. 1
校長 光成 秀博

2022(令和4)年度 1学期始業式 式辞

新型コロナウイルス感染防止に向け、多くの制約がある状況ですが、今日から、新年度が始まりました。皆さんは、それぞれ次の学年へ進級したこととなります。おめでとうございます。新しい年度の初めにあたり、皆さんに校長として次のようなことを考えてほしいと思っています。

生徒の皆さんは「大成館中学校区のリーダー」としての自覚を持ってください。3年生は、大成館中の最高学年、「リーダー学年」です。行事だけではなく、授業態度、あいさつ、清掃などすべての活動の中で全校をしっかりと引っ張って下さい。今、本校でも桜が咲き誇っています。最初に咲く桜の花は、最後の一輪の花が開花するまでしっかりとその姿を後から咲く花に見せるように咲いているそうです。この学校の中で最初に入学した3年生の皆さんは「こういう風に咲くんだ」と後輩たちに示しながら、それぞれの花をしっかりと咲かせてください。私は皆さんを信頼し、大成館中の発展を託します。2年生は、中堅学年となりました。1年生が入学し、先輩となります。校区の8年生として、3年生をバックアップし、次年度きれいな花を咲かせるために、つぼみを膨らせる1年間にしてください。

大成館中学校は「大志を抱きそれを成すための館(学校)」という理念を掲げ成立した学校です。学校教育目標は「心豊かに自立・貢献・感謝する生徒の育成」であり、ビジョンは「生徒が生き生きと活動し、いじめのない楽しく安心して学習できる学校、先生と生徒が協力し創造的・自主的活動に満ちた学校、思いやりあふれた明るく美しい歌声が響く学校」です。今年度の生徒会スローガンは「大志 自分で決めて自分で変わる」です。一生懸命取り組みれば取り組むほど、大きな壁にぶつかるのが人生です。しかし、くじけることなくチャレンジしていくことで、みなさんは本当の「強い中学生」となることができるのではないのでしょうか。

私の志は「大成館中学校の全生徒を誰からもかわいがられ、頼りにされ、求められる人に育てること。そして社会に貢献できる人になるよう育てること」です。今年度から高等学校入試が大きく変わります。授業で先生から学んだことを記憶して「わかった」だけでは不十分です。学んだことを活用しながら「自分でできた」「生活に生かすことができた」という体験を多くし、それを自己表現できなければなりません。そのために今までの「大中文化」をワンランクアップしてみましょう。今まで皆さんは「発表します」「注目しましょう」「わかりました」と言いながら、発表する雰囲気や聞く雰囲気、認め合う雰囲気を作ってきました。今後は「発表します」と言わなくても、しっかり考え、考える途中であっても発言できるような状況を作りましょう。「注目しましょう」と言わなくても、相手の考えをじっくり聞いて自分の考えと比べてみましょう。「わかりました」という代わりに「何がわかったのか」また「わからなかったのか」「自分の考えと同じところや違うところと比べながら、新しい考えを作り上げていきましょう。友達の意見に耳を傾けながら「自分ならこう考える」と一人一人が自信をもって発表できる力をつけてください。そのためには誰もが安心して発表できる思いやりあふれた学級づくりが大切です。思いやりにあふれた学級では、絶対にいじめは起こりません。「最も大切にすべきは命である」ことを意識して、「安心安全でみんなが元気な大成館中学校」を築いていきましょう。



2022年(令和4年)4月6日
福山市立大成館中学校
校長 光成 秀博

